



遊びで触れた外国文化

タイの財団が学校訪問



振り付きのゾウの歌を楽しんだ五日市小の児童。
⑤は、ゾウを表すタイ語で、読み方は「チャン」



タイの山岳地帯で森林保全や環境教育活動などを行っているタイラックス財団のスタッフ四人が十一月十四日から三日間、町のさまざまな取り組みや森と風がっこうなど民間の活動を視察しました。

小学校は二校を訪問。十四日は、放課後に児童が自由に過ごせる「いっかいち子どもの城」で、タイの子どもたちの様子をビデオで紹介したり、輪ゴムを使ったあや取りや歌を教えたりしました。児童は、ハワイボードに書かれたタイ語を見てびっくり。言語や文化の違いに興味を示していました。最後は日本の歌を披露。参加した橋本彩乃さん(三年)は「楽しかった」と目を輝かせていました。

十五日は、葛巻小学校の全校児童による表現集会で、タイの暮らしや文化を紹介。児童は、谷川俊太郎の詩の朗読や歌の発表、タイクイズなどで盛り上がりました。

また、財団スタッフが五年生の授業を受け持ち、将来の町の姿をイメージさせました。児童は八つのグループに分かれ、十分間という短い時間の中で、話し合いを進めながら自分たちの夢を絵にしました。高層ビルが建ち並び、想像上の乗り物が登場したグループなどそれぞれに個性が光る中、共通していたのは山や川、牧場、風力発電など今ある葛巻の風景が残されていたこと。授業を通じて、町の未来を考える機会にもなりました。



みんなで作った「のり巻き」でパーティー。
後列⑥は引率した葛巻高校の似田貝和弘先生

初めて見るものばかり、日本とはまったく違うドイツの街並みにとても感動したという参加者。今回はドイツだけでなく、ホストファミリーと一緒にフランスへの日帰り旅も楽しみました。「ムンスターという教会がとても幻想的で心に残っています」と中瀬瑠惟さん。列車で気軽に国境を越えることができ、隣の国がとても身近に感じられたようです。

ホームステイは、1人ずつの受け入れでしたが、昨年9月に来町した学生の家もあり、すぐに打ち解けることができました。会話は多少不自由したものの、心温まる交流で、同市との距離がまた少し縮まったようです。



バードデュルクハイム市内の広場に花や野菜がズラリと並べられた朝市

僕は、ホームステイが印象に残りました。そこで思ったのは、自分の言いたいことをそのまま伝えるのは難しいということです。でも、ホームステイ先の人は、理解しようとしてくれ、とてもうれしかった。国籍は違っていても、人の温かさには変わりありませんでした。お別れの時も、「後で手紙書くから」「またね」など温かい言葉を掛けてくれました。思わず胸が熱くなりました。とても楽しい研修でした。できればまた行きたいです。



木戸口弘幸さん
1年・新町

変わらぬ人の温かさ

私が今回のドイツ研修で一番印象に残っているのは、やはり「ホームステイ」です。

実際にホームステイすると、改めて言葉の壁の大きさを思い知らされました。しかし、ホームステイは想像していたよりもとても充実したものとなりました。私を本当の家族のように思い、優しく、温かく迎え入れてくれました。

このドイツ研修に参加することができて本当に良かったと思います。そして、また機会があったらドイツを訪れたいと思いました。



上路 美穂さん
1年・田代

充実のホームステイ

私は、ドイツの家庭にホームステイして、自分が日本や葛巻町をよく知らなかったことに気付きました。ホストファミリーの人に質問された時「たぶん...と思う」としか答えられなかったのです。

また、日本とドイツの文化や生活習慣の違いを直に学び、ドイツの人々の心の温かさを感じることもできました。

そして、ドイツを好きになったのはもちろんですが、日本や葛巻町のことももっと知り、良さを多くの人に伝えたいと思いました。



桂川いずみさん
1年・田の沢

日本の良さ伝えたい

今年で3回目を数える葛巻高校(伊藤正博校長・生徒15人)のドイツ研修は、10月24日から11月3日まで11日間の日程で行われました。4人の生徒が参加し、バードデュルクハイム市でのホームステイをはじめ、学校の授業体験や施設の見学などを通じて多くのことを学びました。参加した皆さんの感想を紹介します。

私の一番の思い出は、ホームステイです。はじめは英語が通じることが不安が山ほどありましたが、家族とうまくやっていけるかなど不安がなくなりました。しかし、家族の温かさや触れ、そんな不安はすぐになくなりました。長いと思っていた六日間のホームステイはあっという間に終わり、別れの時は言いたいことがたくさんあるのに、英語に直せず悔しい思いをしたことを覚えています。

この研修で、私は人と触れ合うことの大切さを知りました。決して忘れることのない思い出です。



中瀬 瑠惟さん
2年・遠矢場

人と触れ合う大切さ